

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

松山市立久枝小学校 主幹教諭 鶴久森 まゆみ

1 単元名 未来に向けてできること ～久枝キッズのSDGs～

2 単元の目標

- ・地域の環境について、良い点や課題点を見付け、その課題は日本や世界の課題にもつながっていることに気付くことができる。 (知識及び技能)
- ・課題解決に必要な情報を多様に収集し、情報を整理しながら解決の見通しを持ち、その方法を相手に応じて分かりやすく表現する。 (思考力・判断力・表現力等)
- ・自分と違う意見や考えの良さを生かしながら、協働して学び合い、地域とのかかわりの中で自分にできることを見付けようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、「久枝をSDGsのメガネで見よう」「久万川を守るためにできることを考えよう」「久万川を守る活動を広げよう伝えよう」を教材として取り上げる。1学期に学んだSDGsの考え方で校区探検を行い、一番身近で慣れ親しんだ久万川について課題を見付け、改善のための活動につなげていくことが期待できる。また、グループでの活動や学級以外の友達への発表をする中で、多様な他者との協働やコミュニケーションの力を向上させることもできる。活動の軸足を「地域と水にすることで、自分たちにできること、自分たちだけでは解決できないことにどのように取り組んでいくのか」といった探究活動を発展させることができる。

(2) 児童観

本学年の児童は、2年生の「まちたんけん」で地域の特徴や良さに触れており、3年生の「名人さんに学ぼう」では、地域の方々との触れ合うことの楽しさを経験している。4年生では、地域の伝統行事「川狩り」を体験し、地域の伝統文化と水環境を守っていくための努力をしている方々の姿も見ている。本単元では、そうした経験を基に地域の良さを受け継ぎ、発展させていこうとする思いを持って活動できると考える。本校では、同じ中学校区で連携し地域の活性化のため、定期的に「鴨川地区子ども会議」も開かれており、3校が地域の良さや課題を出し合い、本校提案の「ごみ0運動」にも足並みをそろえて取り組んでいるところである。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、地域を実際に歩くことからスタートさせる。その際、SDGsの視点で自分なりの良さや課題を発見させる。その後、松山市の環境出前教室や地域の自然や歴史に詳しい方をゲストティーチャーに招き、久万川の水質検査を行ったり、県境問題について考えたりしながら、地域の課題をどのようにすれば解決できるのか、自分たちでアイデアを出し合い、実践活動に取り組みせたい。活動の成果を発表し、さらなる課題解決を目指し、地域の方々や他校と連携して啓発活動を行うなど、多くの他者と協働して取り組むことの良さを実感させ、今後の活動につなげていきたい。

(4) ESDとの関連

・ 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性・・・自分たちの学校、家庭、地域の課題は、日本や世界の課題とつながっていることを知る。

連携性・・・一人では無理でも、多くの人と力を合わせることで課題の解決に向かおうとする。

責任性・・・自分たちの行動が自然環境に影響を及ぼす相互性について気付き、課題解決のためにやり遂げようとしている。

・ 本学習で育てたいESDの資質・能力

批判的に考える力（クリティカルシンキング）

よりよい学校づくりにとどまらず、よりよい町づくりについて自分の生活を見直す。

多面的・総合的に考える力（システムズ・シンキング）

校区に住む人たち全員が取り組むことのできる活動について考える。

コミュニケーション力

自分たちの生活の見直しや町づくりへの取組を他校や地域と交流しながら自分の考えをつくりあげる。

協働的問題解決力

地域の人や他校の児童生徒と協力して、最後までやり遂げ、続けていこうとする。

・ 本学習で変容を促すESDの価値観

世代内の公正

どの年代にとってもよりよい町づくりを目指す。

自然環境や生態系保全

環境に配慮した取組でなければ、町のよさや伝統行事を残し続けていくことができない。

幸福感を大切にす

人とつながり、協力することで町づくりの役に立っている。

・ 達成が期待されるSDGs

目標6 安全な水とトイレを正解中に

11 住み続けられる町づくり

14 海の豊かさを知ろう

4 単元の評価規準

(ア) 知識・技能	(イ) 思考・判断・表現	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
① 地域の環境について、良い点や課題点を理解している。 ② 自分たちの地域の課題は、日本や世界でも共通の課題であることに気付いている。	① 課題解決に必要な情報を収集し、情報を整理しながら解決の見通しを持つ。 ② 課題解決の方法を相手に応じて分かりやすく表現している。	① 自分と違う意見や考えの良さを生かしながら、協働して学び合おうとしている。 ② 地域との関わりの中で、自分にできることを見付けようとしている。

5 単元の指導計画（全 28 時間）

学習活動	○学習への支援	評価・備考
<p>1 地域の課題を発見する 「久枝を SDG s のメガネで見よう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 未来まちたんけん ・ ゲストティーチャーによる講義（6時間） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 久万川流域を歩いて探検し、地域の未来を想像しながら、その様子をタブレット端末で撮影することで、地域の良さと課題に気付かせるようにする。 ○ ゲストティーチャーから、ゴミ問題について話を聞いたり、水質検査をしたりすることで、課題に対する考え方を多角的に深められるようにする。 	ア①・②
<p>2 自分たちにできる活動を考える。 「わたしたちの久万川を守るためにできることを考えよう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べ学習 ・ 活動報告会 ・ 動画作成・発表 <p style="text-align: right;">(16 時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちによる主体的な活動になるように、活動1で得た学びについてよく話し合い、検討させ、新たな疑問については調べさせる。地域の良さと課題に改めて気付かせると共に、地域の環境問題が世界的にも共通の重要課題につながっている等、課題に対する考え方を更に深められるようにする。 ○ 4年生の「川狩り」体験を想起させながら、川の環境を守ることが、まちの良さを守ることにつながることに気付かせる。 ○ 活動内容に応じて、学年内でいくつかのグループに分かれ、並行して活動を進めるようにする。そして、グループでの活動について、タブレット端末のプレゼンテーション機能を活用して、報告会を行う。自分たちの活動を振り返り、まとめ、発表すると共に、他のグループの発表を聞くことで、活動の意義を多面的に捉えられるようにする。 ○ 自分たちの活動を振り返り、達成感をもつと同時に、活動をより発展させていくために、調べたことや考えたことを学年で一つの動画にまとめ、全校集会で発表（放送）する。 	ア② イ①・② ウ①
<p>3 活動を発展させてより大きな課題を解決するために、周囲と協力する方法を考え、実践する。 「久万川を守る活動を広げよう！伝えよう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践、啓発活動 ・ ポスターセッション <p style="text-align: right;">(6 時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポスターやパンフレット、動画による啓発活動など、子どもたちのアイデアを実践できるよう、適宜支援する。 ○ 地域の方々や他校の子どもと交流する場合は、そのコーディネートを行い、子どもたちが活動を発展させられるよう支援する。 ○ 一連の活動を、ポスターセッションの形で校内に掲示し、自分たちの活動とその成果を実感できるようにすると共に、さらなる啓発活動へつなげる。 	イ①・② ウ①・②

6 単元構想 (全 28 時間)

4年生で体験

地域の伝統行事
「川狩り」

ずっと大切にされてきた伝統行事!

地域の人の団結力、ふるさと愛はすごいな。

川狩りって、楽しいな。

友達と協力するすばらしさを実感!

水の大切さも分かったよ。

川狩りは、久枝の宝!
ずっと受け継いでいきたいな。

昔みたいに久万川で川狩りができたらいいな。
すぐそばに川があるのに、なんだか寂しいな。

願い

久万川でもう一度川狩りができるように、きれいな川にしたい!久万川も町のじまんとして誇れる川にしたい!

学習活動① 久枝を SDGs のメガネで見よう

久万川についての知識

昔の久万川はどんな川だった?
どこへつながっているか?私たちの生活とのつながりは?

久万川の現状・課題

水質

ごみ

生き物

願い

学習活動② わたしたちの久万川を守るためにできることを考えよう!

プラスチックごみについて考えたい。

ごみをつくり出さないようにしたい。

油の処理をしっかりとりたい。

久万川の良さを残したい、伝えたい。

久万川を守るために、自分たちで活動しよう!
他にも、もっとできることがあるはず!

学習活動③-1 久万川を守る活動を広げよう!

自分たちで清掃活動を行おう。
家族にも手伝ってもらおうよ。

ポスターを作って近くのお店に貼ってもらえるよう頼んでみよう。

新聞に投書したり、地域の放送で呼び掛けたりしたいな。

久万川ガイドブックを作って、久万川の上流や下流の学校に渡そう。

コマーシャル動画を作って子ども会議で発表しよう。

学習活動③-2 久万川を守る活動を伝えよう!

久枝小学校のみんなに、これまでの活動を伝えよう!

願い

これからも、この活動を続けていこう。
久万川を大切に思う人、久枝のまちを大切に思う人が増えるといいな。



みんなが幸せ!住みよい久枝のまち

7 本時の指導

(1) 目標 これまでの活動を発展させ、より多くの人と協力して地域の問題点を改善するためにどうすれば良いか、その具体的な方法を検討し、実践につなげることができる。

(2) 準備物 ワークシート ホワイトボード

(3) 展開

学習活動	主な発問・指示 (○) と子どもの意識の流れ (・)	支援 (○) と評価 (◎)
1 これまでの学習を振り返り、本時の見通しをもつ。	○ 久万川についての思いを話し合しましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみが多い。掃除をしてきれいにしたい。 ・ 自分もごみを捨てないようにしたい。 ・ 生き物も住みやすい川にしたい。今よりもたくさんの種類の生き物が増えたらうれしい。 ・ 久万川がきれいになれば、本当の川で川狩りができるかもしれない。 ・ 自分たちの力だけでは難しいけれど、たくさんの人で協力すればできるかもしれない。 	○ 久万川に対する子どもの思いを全体で共有するために、ICTを活用して可視化する。 ○ 活動を発展させるため、良さだけでなく課題についても触れる。
2 活動を発展させるための方策を検討する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 久万川を守る活動を広げるためには、どうすれば良いだろう。 </div> ○ 活動のアイデアを出し合しましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の清掃活動をしたい。 ・ ごみゼロのポスターを作る。 ・ コマーシャル動画を作る。 ・ 家族と一緒にやってみる。 ・ 久枝小学校の、他の学年にもお願いする。 ・ 「子ども会議」を通して、他の学校にも伝える。 ・ 公民館や近所のお店などで、自分たちの活動について知らせるポスターを貼らせてもらう。 	○ 一人ひとりが自分事として活動を考えられるよう、自分の考えを付箋紙に書き、グループで検討する。
3 学習のまとめをする。	○ これからどんな活動にしていきたいですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 川狩りをいつか本当の川でできるようにしたい。 ・ みんなが協力してくれるようしっかりアピールしたい。 ・ たくさんの人と一緒に協力して、久枝をもっといいまちにしていきたい。 	◎ これまでの活動から課題を見出し、主体的・協働的に課題の解決に取り組もうとしている。 (観察・ワークシート)

8 事後活動

- 授業終了後、12月の子ども会議（近隣の連携の潮見小学校・鴨川中学校と年2回実施）で5年生有志が発表、意見交換を行った。
- 「久枝のSDGs」動画を渡し、それぞれの学校で見てほしいとお願いした。
- 潮見小学校から、一緒に校区の公園清掃活動を行いたいと相談があり、調整を行ったが、距離や時間が合わず、活動自体は別に行い、Teamsで活動報告を行うことに決定した。

- ※ 今年度、5年生の総合的な学習の時間の実践に総合プロジェクトチームの一員として参加。
- ※ 教務という立場で外部との連携や調整を行い、本研修で学んだことを授業学年やプロジェクト会で伝達。
- ※ 現在、次年度へ向けての単元の見直しがプロジェクト会でスタート。次年度は、小中連携教育事業の発表年度になっており、この単元で潮見小5年児童、鴨川中の教職員に関わってもらうため、3校合同で単元構想を2月に検討する。